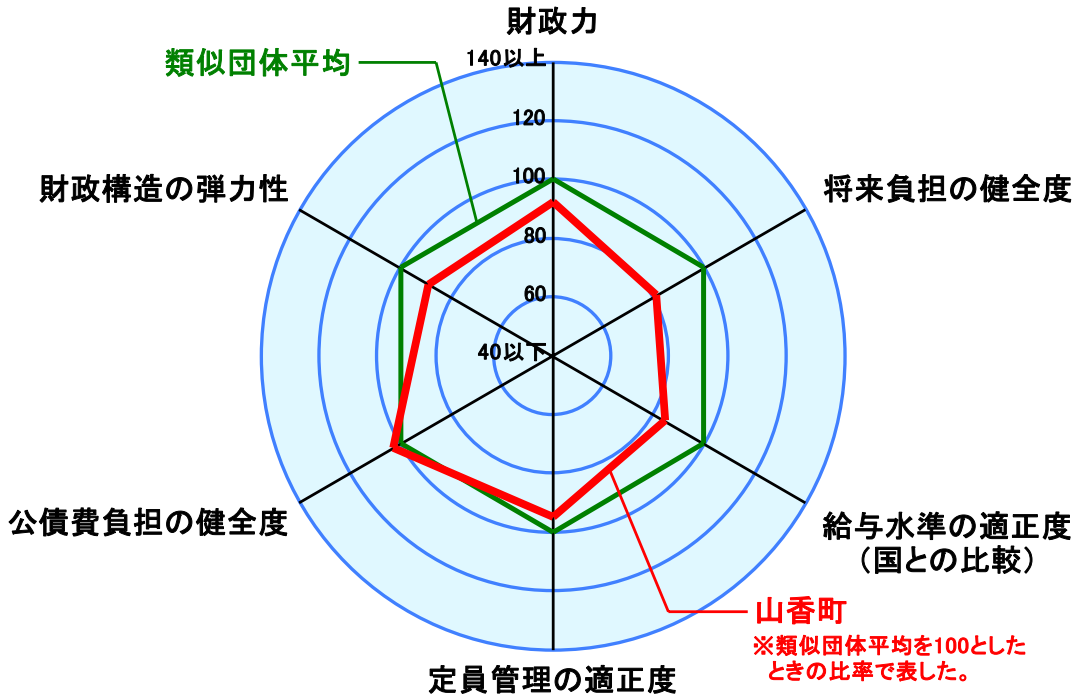
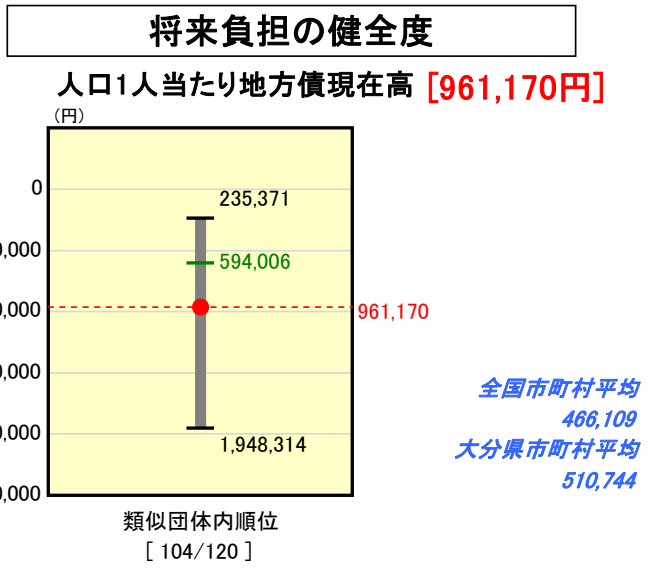
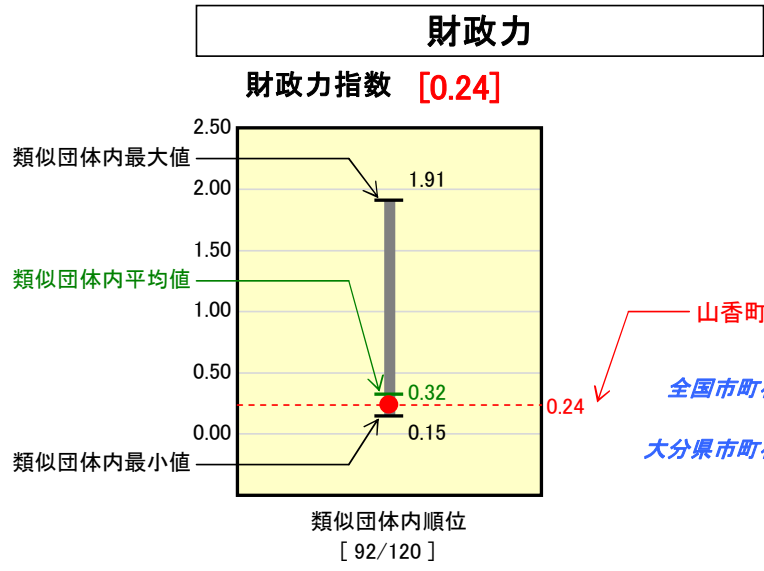


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 大分県 山香町

人口	8,714人(H17.3.31現在)
面積	143.71 km <sup>2</sup>
歳入総額	6,254,486千円
歳出総額	6,071,830千円
実質収支	146,861千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

財政力指数：人口の減少や全国平均を上回る高齢化比率(平成16年度末33.5%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体をかなり下回っている。退職者不補充による職員数の削減等による人件費の削減(5年間で9.9%減)、組織の見直し、受益者負担の見直し等により歳出の徹底した抑制を図る。

経常収支比率：歳入経常一般財源(普通交付税、町税、臨時財政対策債)が年々減少するのに加え、扶助費や公債費、繰出金の増加により類似団体平均を上回っている。退職者不補充、事務事業の見直し、普通養護老人ホームの払い下げや指定管理者制度の導入により歳出経常一般財源の削減を図る。

起債制限比率：交付税措置のある起債を優先的に借り入れてきたことにより、現在のところ類似団体平均を下回っているが、普通交付税の減少による標準財政規模の縮小により、年々増加傾向にある。償還元金以内の起債発行により、起債残高の抑制に努める。

人口一人当たり地方債残高：類似団体に比較して町債残高は、平成10年度から11年度に実施した大型プロジェクト(風の郷、定住促進住宅団地整備)、平成16年度より実施している山香小学校移転改築工事等により、類似平均の約1.6倍となっている。起債制限比率と同様の扱いにより起債残高の抑制に努める。

ラスパイレス指数：類似団体と比較しても、かなりの高水準となっている為、今後は諸手当のみならず、本給の削減も含めた総合的な給与の適正化に努める。

人口1000人当たり職員数：類似団体平均を上回っているが、福祉に力を入れた施策により特別養護老人ホームと普通養護老人ホームを所有しており、全体に占める福祉部門の職員割合が特に高い。人員の少ない他部門とのバランスを考慮しつつ、人員削減に努める。

